



# 福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375  
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
2011年-2012年 RI テーマ

■会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子  
■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一  
■委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

## 第30回例会

平成24年2月15日(水) サンパレス福島

■メークアップ/28名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/39名 ■出席率/58.21%

### 本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 クラブ協議会  
入会協議会「佐々木 孝光 氏」
- 4 新世代奉仕委員会 報告  
伊藤 弘子 委員長
- 5 インターシティ・ミーティング  
委員会ごとの確認
- 6 閉会点鐘

### 今月・来月のプログラム

- 2月17日(金) IM(東北第一分区インターシティミーティング)
- 2月22日(水) 振替休日
- 2月29日(水) ゲストスピーチ 福島グローバルRC  
直前会長 鈴木 美恵子 様
- 3月7日(水) ガバナー補佐クラブ訪問  
ロータリーの友読みどころ・第10回理事会

### 今週のトピックス

休眠預金活用の議論が、スタートとの報道があります。被災地の復興に活用と聞けば良い考えだと感じるが・・・どの様な結論になるのか興味があります。

### ◆会長あいさつ◆

#### 高橋 和之 会長



先週の例会後に第9回理事会を開催いたしました。今回、特に皆様にお伝えしたい内容についてご報告申し上げます。

はじめに、福島大学つくしまふくしま未来センターとの連携・協働で行いました「学生の力で世界と繋がろうプロジェクト」の経過についてのご報告です。

福島大学と当クラブの復興支援室が協議・検討していく中で、最終的に風評被害対策の当プロジェクトが企画・立案されました。復興支援室では、必要の都度復興支援室会議を開催し、理事会でも都度報告をいただく中で補助金申請の運びとなりました。

しかし、当クラブとして足並みが揃っていないとの苦情がありましたので、2月6日に復興支援室会議を開催し、今までの経過説明を申し上げ、更にご理解を深めていただきました。そして、8日の理事会において改めてご説明を申し上げ、満場一致で可決をいただいた経緯でございます。

振り返ってみますと、迅速に議事が進んだことにより、全会員への理解不足がありましたことと、理事会での審議の欠如でありました。このことは会長である私にその責任がありました。深く反省いたします。この件につきまして、今週初めに復興基金日本委員会

から審査の結果が入り、当プロジェクトは緊急性が低いために、今回は適用出来ないとのこと、廣澤復興支援室長から報告を受けたところでございます。ただ内容的には非常に良いので、何らかの支援を活用して実現してくださいとの力強いアドバイスをいただいたようです。

次に「葉っぱのフレディーいのちの旅プロジェクト」についてのご報告です。大きなプロジェクトですので、昨年11月ごろから復興支援室と葉っぱのフレディーの関係者とも、福島上演の可能性を求めて協議を重ねておりましたが、ようやく申請書を上程する運びとなりました。多数のご意見をいただき、協議の結果、申請書提出を満場一致で可決いただき、一昨日に地区に上程いたしましたところでございます。

以上2件のご報告ですが、どちらのプロジェクトも過去に経験も無いほど大きな事業でありました。また、他クラブや他機関との連携・協働の企画案件でもありまして、企画・立案には精力的にしかも長時間の作業でした。企画・立案に関わって頂きました関係者各位に、敬意と感謝を申し上げます。ご苦勞様でした。

申請が認可されました暁には、皆さんと一緒に、“出でて奉仕”をしたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。以上で会長挨拶を終わります。ありがとうございました。

### ◆新世代委員会 報告◆

新世代委員会 伊藤 弘子 委員長



インターアクトクラブの国際理解研修会に参加してまいりましたので、ご報告をさせていただきます。今週の月曜日と火曜日に天栄村のブリティッシュヒルズにおいて、国際ロータリー第2530地区のインターアクト生2年生2名が三本杉先生の引率の下、参加いたしました。

インターアクターは、全部で38名の参加、引率の先生が10名、ロータリアンが20名の参加でした。

この国際理解研修会の目的は、「これからの福島を考えるヒントを得る」「簡単な英会話を使って、2日間楽しく過ごす」「他校のインターアクトクラブ員との交流を通じ情報交換を行う」です。

この2つ目の英会話を使って過ごすとは、開会式と閉会式以外は日本語を使わない!! という条件付きでした。ブリティッシュヒルズは外国人が沢山いますので、それなりに皆、英会話を楽しんでいたようです。以上、国際理解研修会の報告とさせていただきます。

### ◆IM 実行委員会◆

実行委員会 野地 利雄 委員長



野地 利雄 実行委員長

皆様、先週に引き続き、IMの予行演習に貴重な例会の時間をいただきありがとうございます。開催が金曜日に迫り時間がありません。本日は、委員会毎に着席をしていただきました。



大野 順道 実行幹事

これからの時間は大野実行幹事の下、滞りなく実行できますようにご審議、ご検討をお願いいたします。

#### 各委員会の打合せ



### ◆IM 報告◆

広報・記録委員会 松崎 弘昭 副委員長

2月17日(金)、サンパレス福島において当クラブがホストクラブとして第2530地区第一分区のIMが開催されました。野地実行委員長を中心にクラブ全員が真剣に準備を重ねてきた甲斐があつて、分区の一大行事が大成功に終わり、多くのロータリアンをお迎えしての充実した一日を過ごすことができました。グループ討議では、「3.11後の職業奉仕」をテーマにグループリーダーが中心となり、約80分話し合いが行われました。その内容については、グループ討議の書記をお願いした15名の方々の協力を得て、後日報告書にまとめさせていただきます。



### ◆スマイリングボックス◆

幹事 菅原節子様のご尊父様のご逝去の報に接し、謹んでお悔やみ申し上げます。高橋 和之 会長 この寒さ骨身にこたえる。斎藤 浩 会員 インターシティ・ミーティングと研修旅行を祝って。鈴木 光一 会員 神奈川へ嫁に行った娘からバレンタインデーのチョコレートが送られてきました。バレンタインデーが恐ろしい。富田 健三郎会員 IM前の例会になりました。林 重克 会員

スマイル 32,000円 累計 1,324,000円  
財団・米山 38,000円 累計 1,284,000円

### ～一週一言～ 大徳

「大徳」ほどこの人でなければ出来ぬという尊い使命がある。「大徳は命を受く」とはこの意味だ。又、大徳はそれ相当の位を得、禄を得、名を得、寿を得る。我々は我々に独自の命、位、禄、名、寿を自得すればよいのだ。

安岡 正篤 一日一言より

### 一編集後記一

最近では、飯館村と福島環境放射線量がほとんど変わらない数値になっています。地震も頻繁に発生するやら原発の温度計の異常数値の計測など、不安を感じる事が発生しています。何か落ち着かない日々が続いています。(福田)